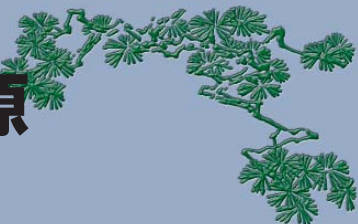


白鳥神社（三里）の松原



香川県

- 所在地／東かがわ市松原
- 規模／幅 0.2km、長さ 0.5km、面積 11ha、樹齢 200～300年
- 指定／瀬戸内海国立公園
- 問合せ／東かがわ市商工観光室 電話 0879-33-2750



立地環境

播磨灘に面した東かがわ市の海岸にある、白鳥神社の境内を中心に広がる松林です。

松原の今昔物語

白鳥伝説とともに親しまれている松林

白鳥神社には、日本武尊が伊勢で亡くなったあと、白鳥になってこの地に舞い降りたという白鳥伝説があります。松林は、その境内地の松としてよく親しまれています。

樹齢約 200～300 年の老松が約 1,500 本あり、県内の海岸松林の代表的なもの 1 つです。



COLUMN

白鳥神社には県指定文化財「香川の保存木」である「白鳥神社のクスノキ」が見られます。日本一低い山とされる「御山」山頂へは、神社社務所から徒歩 1 分。近くには白鳥どうぶつ園や讃州井筒屋敷や安戸池もあります。松原を望めるスポットは、手袋神社横のステージがおすすめです。松原では春季大祭や夏越祭、秋季大祭、お火焚祭（おみかん焼）などのイベントが行われます。

ACCESS

●電車やバスの場合

JR 高徳線讃岐白鳥駅下車、徒歩 5 分

●車の場合

高松自動車道「白鳥大内」I.C. または「引田」I.C. より 10 分
駐車場有り

